

第11回定例岡山県教育委員会議事録

- 1 日 時 令和7年10月3日（金）
開会14時15分 閉会 15時16分
- 2 場 所 教育委員室
- 3 出席者
- | | |
|--------------|-------------|
| 教育長 | 中村 正芳 |
| 委員（教育長職務代理者） | 上地 玲子 |
| 委員（教育長職務代理者） | 服部 俊也 |
| 委員 | 梶谷 俊介 |
| 委員 | 田野 美佐 |
| 委員 | 須江 健治 |
| 教育次長 | 後藤 博幸 |
| 教育次長 | 佐々木 亨 |
| 学校教育推進監 | 室 貴由輝 |
| 教育政策課 | 課長 小林 伸明 |
| | 副課長 小野 敏靖 |
| | 総括副参事 滝澤 容彦 |
| 高校教育課 | 課長 鶴海 尚也 |
- 4 傍聴の状況 0名
- 5 協議事項
(1) 令和8年度重点事業について
- 6 報告事項
(1) One Young World グローバルサミット 2025 への生徒派遣について
- 7 その他
- 8 議事の概要

開会

非公開案件の採決

(教育長)

本日の議題の審議に入る前に、議題の公開の可否について決定したい。本日の議題のうち、協議事項（１）は今後、知事、議会との協議を要するものであるため、教育委員会会議規則第１２条に基づき、非公開とするよう発議する。

委員から、議題を非公開とする発議はないか。

(委員全員)

(特になし)

(教育長)

この発議は、討論を行わずにその可否を決定することとなっているので、直ちに採決に入る。協議事項（１）は、非公開とすることに賛成の委員は挙手願う。

(委員全員)

挙 手

(教育長)

全会一致により、本案件は非公開とすることに決した。

報告事項（１）One Young World グローバルサミット 2025 への生徒派遣について

・ 高校教育課長から資料により一括説明

(委員)

過去に派遣した生徒が One Young World グローバルサミットに出席した際の体験談を語るセミナーは、オンラインで実施されているのか。

(高校教育課長)

生涯学習センターで対面実施である。今回の参加生徒は、40 名程度であった。

(委員)

セミナーに来られない遠方に住む生徒も参加できるようにオンラインでの参加を可能にする仕組みの導入を求めるとともに、小中学生も閲覧できるようにすることで、内容が完全に理解できなくても、良い刺激を受ける機会を提供できると思うので、検討してほしい。

(高校教育課長)

良い機会だと考えているので、県教委の取組として小中学生を含む広い層へ展開していきたい。また、高校段階からのグローバル人材育成には限界があるため、義務教育段階への留学支援や情報提供を開始し、早期からの育成を強化していきたい。なお、今後のセミナー等では、義務教育段階も含めたオンラインでの情報発信を、アンケート結果等を踏まえて実施したい。

(委員)

・セミナーの内容を YouTube 等で公開し、いつでも視聴できるようにすることで、参加できなかった生徒にも情報が行き渡るようにしてほしい。

・セミナー内での One Young World グローバルサミットに参加した生徒の講演の映像を撮影し、公開することで、高校での将来のグローバルな活躍を具体的にイメージできる機会となるようにしてほしい。

(高校教育課長)

過去の派遣では、岡山大学の同行により実施しており、写真等の活動記録が不十分であったため、今回は職員を派遣して、活動状況を肖像権等にも配慮しつつ、詳細に記録し、広く紹介できるように努める。

(委員)

当該サミットへの出発までの何かプログラムは実施するのか。

(高校教育課長)

One Young World グローバルサミット参加に際し、出発前の事前に東京で開催されるミーティングに参加し、先輩参加者との交流を通じて情報収集や知識習得を行う予定である。

また、10月21日に岡山市内で開催される RCE 会議では、岡山大学が設けるトークセッションに参加し、自身の提言を発信するとともに、国際感覚を肌で感じる機会とする予定である。

(委員)

渡航前に日本の高校生や大人、教師の意見を集約してサミットに持参し、帰国後にはその経験を行政にフィードバックする機会を設けてもよいと考える。

当該生徒は、PBL CROSS に参加しており、PBL における探究テーマ設定期間の長さなどの問題意識を持っていた。帰国後に、教育委員との懇談を実施しても良いと思う。

グローバルサミットでの経験と日本の教育現場の課題を基に、帰国後に教育行政への具体的な提言を行ってもらいたいというのも、良いと思う。

(委員)

岡山大学生の補助的な立場ではなく、グローバルサミットに厳正に選抜された正式なメンバーの一人として参加するということか。

(高校教育課長)

岡山大学がこれまで学生2名を派遣していたが、令和4年度に連携事業を進めようということで県立高校生1名も加わるようになった。

岡山大学の学生や世界のヤングリーダーと全く同等の立場で、このサミットに参加することができる。

(委員)

選考には、岡山県教委も関わっているのか。

(高校教育課長)

選考は岡山県教委で行っている。また、岡山大学の副学長が One Young World グローバルサミットの枠確保に協力しており、選考にも加わっている。

(委員)

今回の選考に関して、応募者数、選考理由、および今後のキャリアや目標を教えてほしい。

(高校教育課長)

応募者数は、3 名と少なかった。これは、参加資格が 18 歳以上（高校 3 年生）に限定されることも要因の一つである。

該当生徒は、現地での意見発信に必要な英語力に加え、教育学への強い関心と世界へ挑戦する意欲があったことが評価された。

以 下 、 非 公 開

閉会